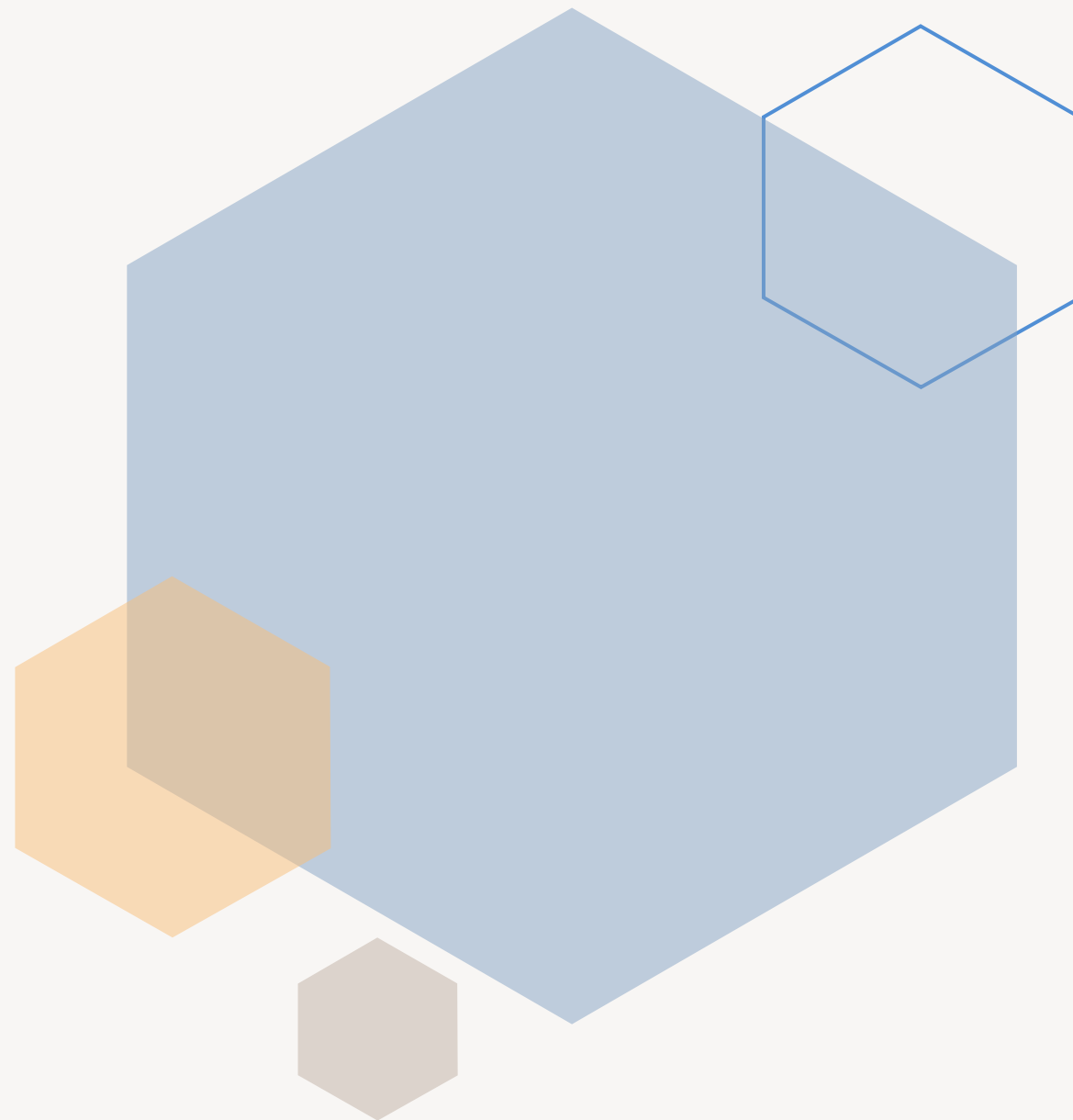


令和 7 年度 第 1 回 総合教育会議

教育委員会事務局
特別支援教育課

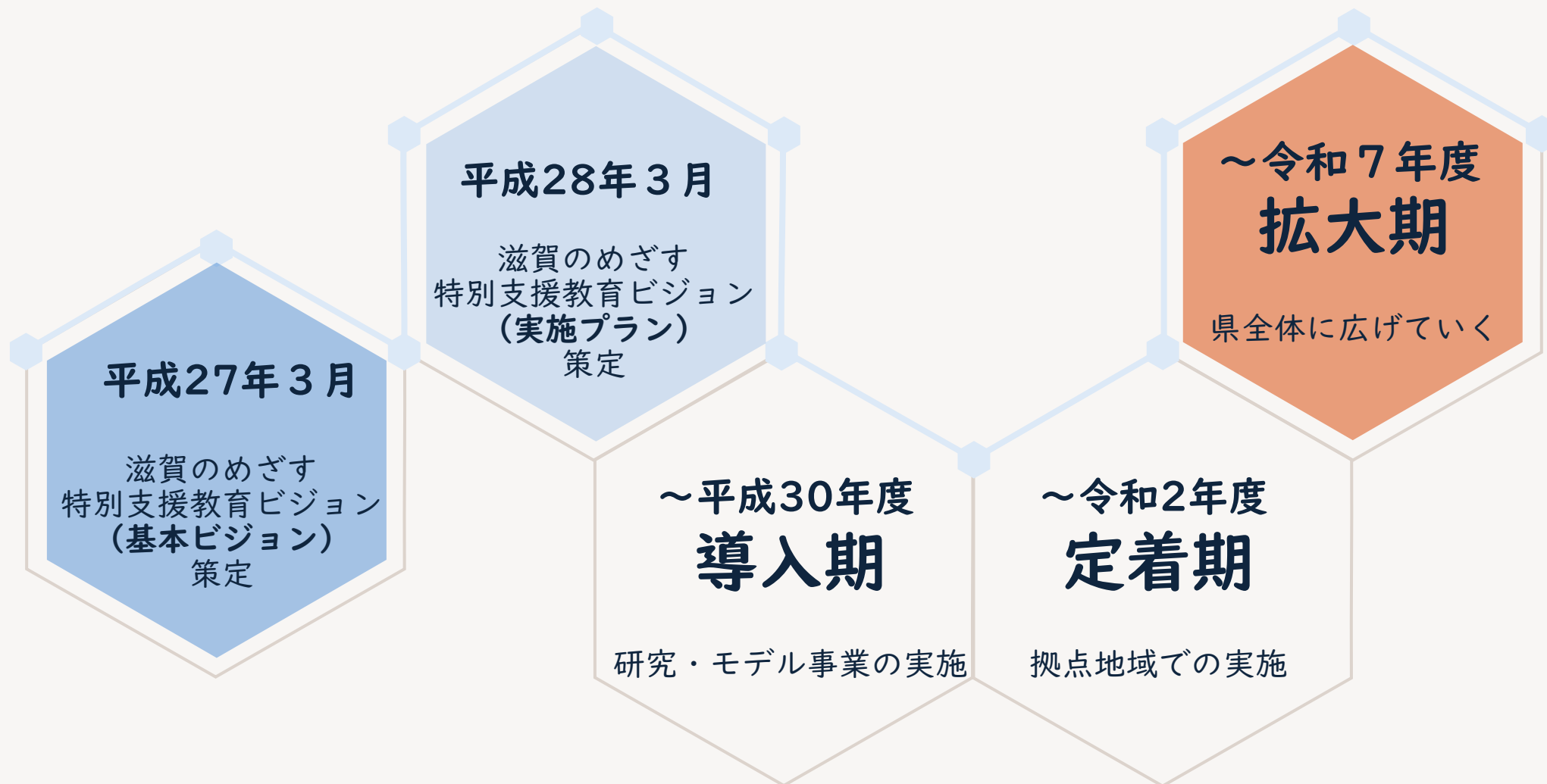


議題

(仮称) 「滋賀県特別支援教育推進計画」
の策定について



滋賀のめざす特別支援教育ビジョン・プランについて




基本理念

障害のある子どもが十分な教育を受けられるよう、教育の充実を図るとともに、障害のある子どもと障害のない子どもが共に学び合うことにより、「地域で共に生きていくための力」を育てる





多様な学びの場



特別支援
学校

特別支援
学級

通級に
よる指導

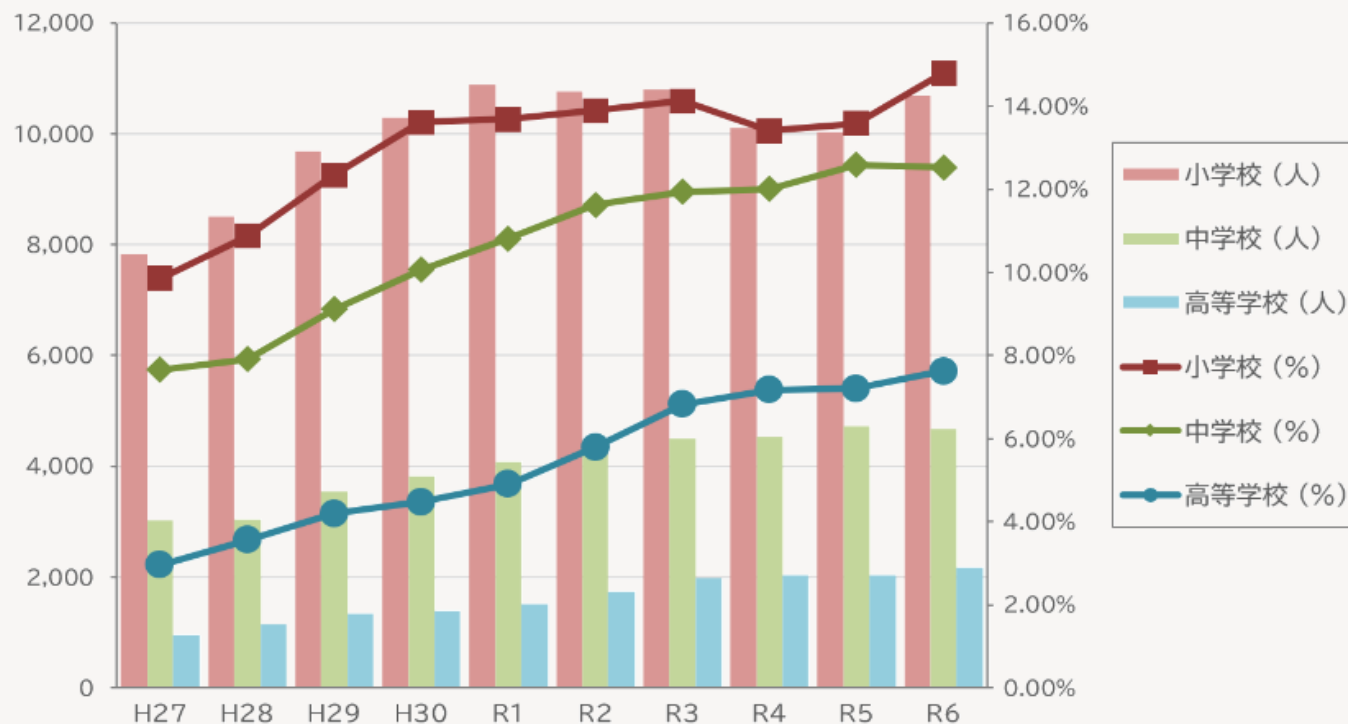
通常の
学級

県立高等学校の現状



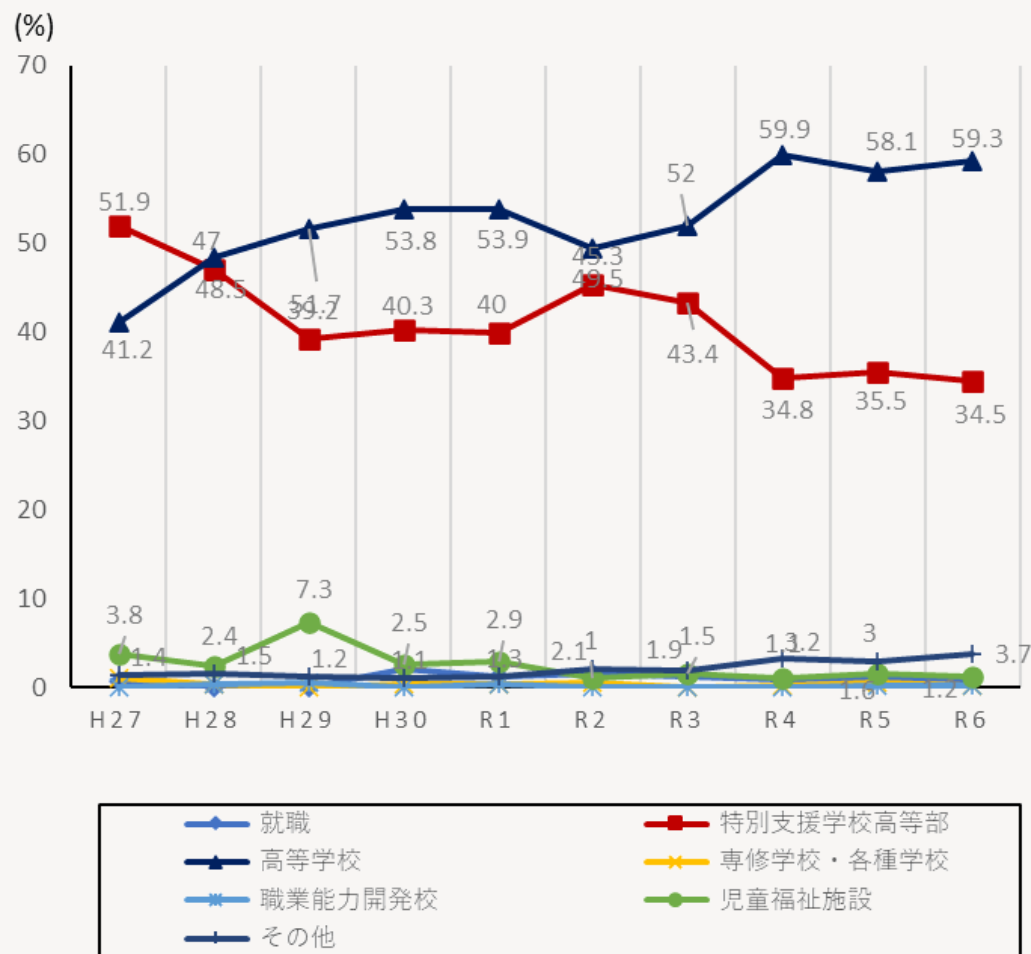
特別な教育的支援を受ける必要があると校内委員会において判断された生徒数と在籍率
(H27～R6)

県立高等学校の現状



公立小中高等学校の
通常の学級における
特別な支援を必要とする
児童生徒数の状況
(H27～R6)

県立高等学校の現状



市町立中学校および
義務教育学校後期課程
特別支援学級卒業者の
進路状況
(H27～R6)

高等学校特別支援教育推進事業

現状

R 6実態調査より (R 6. 9. 1時点)

H19	0.84% (278人)	9.1倍 1,884人増加
R 5	7.21% (2,028人)	1.1倍 134人増加
R 6	7.62% (2,162人)	

高等学校において、発達障害等により特別な教育的支援を必要とする生徒の割合はさらに増加している。

作成率・活用率 (%)		参考 R 6 中学校 活用率 (%)
個別的教育支援計画	作成率	
個別の指導計画	作成率	95.9
個別的教育支援計画	活用率	25.8
個別の指導計画	活用率	48.8
		97.9

R 5年度と比べ、個別的教育支援計画・個別の指導計画の作成率は上昇している。活用率は中学校に比べて非常に低い状況がある。

課題

- 作成した個別的教育支援計画および個別の指導計画の活用を促進する。
 - ・前籍校からの確実な引継ぎの実施
 - ・個別の特別な教育的ニーズに応じた指導支援の実施
 - ・卒業後の進路先への引継ぎも含めた切れ目ない支援の実現
- 発達障害等に対する理解促進と、支援方法に関するスキルアップを図る。
- 特別な支援を必要とする生徒に対し、組織で対応する校内支援体制を充実させる。

高等学校特別支援教育支援員の配置

障害により特別な教育的配慮を必要とする生徒の在籍する県立高等学校に支援員を配置する。

〈配置実績〉
R 4 14人 (生活介助：6人、学習支援：8人)
R 5 16人 (生活介助：7人、学習支援：9人)
R 6 16人 (生活介助：7人、学習支援：9人)

〈業務内容〉
・学校が作成する個別的教育支援計画等に基づき、生活介助や学習支援等を行う
・移動や更衣等の介助
・実験・実習授業時の安全確保等

高等学校特別支援教育巡回指導員の派遣

3年間ですべての県立高等学校に巡回指導員を派遣し、指導助言を行う。
また、年間1回程度高等学校特別支援教育スーパーバイザーを派遣する。

〈派遣対象校と回数〉
1年あたり15校を基本とし、年間6回程度指導助言を行う。
〈内容〉
・特別支援教育の専門性向上に関する指導
・個別的教育支援計画および個別の指導計画の作成および活用に関する指導
・校内支援体制の整備に関する指導
・県立特別支援学校のセンター的機能との協働による対象校への指導等

目的

校長のリーダーシップのもと、特別支援教育コーディネーターを核とした学校全体での特別支援教育の充実に向けた取組の促進を図るため、高等学校特別支援教育巡回指導員およびスーパーバイザーを派遣し、障害のある生徒と障害のない生徒が共に学びあうインクルーシブ教育システムの構築を目指す。

卒業後の社会的自立
に向けた指導と支援

個別的教育支援計画等を活用した
切れ目ない支援の実現



目的

高等学校に在籍する障害のある生徒が安心・安全を確保しながら充実した学校生活を送るとともに、当該生徒以外の生徒に対する障害理解を促すことにより障害のある生徒と障害のない生徒が共に学びあうインクルーシブ教育システムの構築を目指す

ユニバーサルデザインの視点に立った授業づくりに係る研究

困難を抱えた生徒を含むすべての生徒が理解を深めることのできる授業づくりを行う

〈研究内容〉
・県立高等学校1校において研究を実施。
・授業研究会の実施、内容の共有
・高等学校特別支援教育スーパーバイザーおよび巡回指導員の派遣による指導助言

目的

誰一人取り残さず、必要な資質・能力を育成し、個性を生かしていくことを大切にする中で、すべての生徒の学びを保障する

就学前

小学校

中学校

高等学校



次期計画

基本理念

障害のある子どもが十分な教育を受けられるよう、教育の充実を図るとともに、障害のある子どもと障害のない子どもが共に学び合うことにより、「地域で共に生きていくための力」を育てる

柱 1

観点① 個別最適な学びと実態に応じた指導・支援の充実

観点② 社会的・職業的自立に向けたキャリア教育の推進

柱 2

観点③ すべての教職員の資質・専門性の向上

観点④ 多様な学びの機会の確保と教育環境の整備・充実

柱 3

観点⑤ 適切な就学相談の推進

観点⑥ 関係機関との連携による切れ目ない支援の充実